

千葉大学校友会報



千葉大学校友会

創刊号 2007年9月15日

Newsletter of Alumni Association, Chiba University

ごあいさつ

千葉大学長 古在 豊樹

『千葉大学校友会報』の創刊号をお届けいたします。

磯野可一前学長のご英断により、千葉大学校友会が学部の同窓会の連合体として発足してから5年が経過し、ようやく活動が軌道にのってまいりました。

『千葉大学校友会報』発刊の主な目的は、3年半前に法人化した千葉大学の近況と卒業生の社会におけるご活躍の様子を、広く、皆様にお知らせすることです。

法人化した千葉大学は、最近、大きく変わりつつあります。文部科学省に提出承認されている大学独自の中期目標・中期計画に沿って、随時、創造的に、かつ、積極的に、全学を挙げてさまざまな活動を展開しています。

また、新制大学として発足した本学は、平成21年には、創立60周年を迎えます。新制大学以前の貴重な歴史をも継承しつつ、私どもは、先輩たちが築いてこられたさまざまな光をさらに磨き上げ、弥生の鐘に刻まれている「つねにより高きものをめざして」をモットーとして、次の世代にしっかりと受け渡していきたいと存じます。

今秋からは、「千葉大学SEEDS基金」の募金活動が始まります。これは、千葉大学が目指す「社会を支える真の底力をもった日本一の学生づくり、人材育成」のための、教育支援に特化した募金活動です。母校で頑張っている学生の自主的で積極的なさまざまな活動に対し、皆様のご支援をぜひと

もお願いいたします。

卒業生、在学生および教職員に会員を限定した、SNS (Social Networking System) の運用を、今秋より、開始いたします。このSNSを、ご自分が学生時代に所属した学部、学科、サークル、



千葉大学長 古在 豊樹

その他任意のグループにおけるインターネット上での交流に向けて、大いにご活用いただければと思います。

本年8月初旬、北京で、「千葉大学中国校友会」の設立総会が80余名の参加を得て盛大に開催されました。中国における校友会の立上りを皮切りにして、今後、海外で活躍する卒業生との連携を、より広く、より深く、推進してまいりたいと思います。

なお、この『千葉大学校友会報』の発刊は、平成17年4月から平成19年10月まで校友会副会長としてご活躍いただいた、藤澤武彦先生の発案と多大なご厚志により実現したものです。心からお礼申し上げます。

今後は、その任を、宮崎清副学長・理事（教育担当）が受け継ぎます。

『千葉大学校友会報』に関するご感想と叱咤激励を、校友会事務局にお寄せ下さい。

皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

最近の千葉大学

千葉大学の最近の動きをご紹介します。

■平成 19 年度重点実施事項発表

本年度、千葉大学が重点的に取り組む課題（重点実施事項）を取りまとめました。平成 17 年に制定した「千葉大学憲章」「千葉大学行動規範」「千葉大学環境方針」に掲げた理念と目標に基づき、今後とも大学改革を進めてまいります。

■千葉大学の WEB サイトをリニューアル

千葉大学の WEB サイトの TOP ページほかが変わりました。最上部にスライドショーを配した新しいページ、皆さんはもうご覧いただけましたか。

今回の改訂は、大学広報室の学生ボランティアグループ「Creative」が中心となって行われました。

■NHK 大学ロボコン 2007 に出場

大学ロボコンをご存知ですか。ABU アジア・太平洋ロボコン代表選考会は 2002 年に開催されて以来、今年で 6 回目を迎えます。

今回、この競技会に、本学工学部の学生チーム「キャベツRS」（本学公認サークル）が挑戦し、非常に厳しいとされる書類選考とビデオによる二次選考を通過し、見事、6月の大会に出場しました。残念ながら入賞こそ逃しましたが、学生たちは、来年度のさらなる挑戦に向けて、既に活動を開始しています。学生たちのサークル活動は、年々、多様化とともに、活動が積極的に行われるようになっていきます。



NHK 大学ロボコン 2007 への出場

■「千葉大学SEEDS基金」と命名

基金の名称が、「千葉大学SEEDS基金」に決まりました。「SEEDS」とは、無限の生命力を象徴する種子のことです。この言葉には、社会を支える真の底力をもった日本一の学生づくり、大学づくりのためのチャレンジを支え、人を育てる基金にしようという希望が込められています。千葉大学の可能性を育む、本基金の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力をお願いいたします。なお、卒業生の皆様へのご案内は、来年度に、郵送等を通じて行わせていただきます。

■病院機能評価 (Ver.5.0) の認定

病院機能評価とは、第三者機関である（財）日本医療機能評価機構が審査を行い、基準に達していることが認められた病院に対して、認定証が発行されるもので、千葉大学医学部附属病院に、平成 19 年 4 月 23 日付けで、この認定証が授与されました。今日、病院が提供するさまざまな医療サービスが患者さん本位の内容ならびに質であることは必須であり、また、改善に向けての積極的な取り組みが求められています。病院では、「患者さんの意思を尊重した安心・安全な医療を提供する」ことを目指して、職員が丸となって日々努力しております。

■『千葉学ブックレット』発刊

大学の研究活動に基づく地域貢献の一環として、千葉の抱える問題や将来の可能性を、県民の皆様にはわかりやすく解説する『千葉学ブックレットー県土と県民の豊かな未来に向けて』が、地元新聞社である千葉日報社との連携により、発刊されました。第1回発行は、園芸学部教員の執筆による「都市と農業シリーズ」「都市と自然環境シリーズ」の各 1 冊で、県内の書店、千葉大生協、新聞販売店などで発売中です。

ぜひ手にとって、ご覧ください。

■「学長と学生との懇談会」開催

この懇談会は、学部・大学院・留学生・サークルなど、それぞれの立場の学生の意見を、学長が直接聴く場です。

今年で3年目になり既に恒例となった感がありますが、毎回異なる学生の皆さんが参加されるので、いつも適度な緊張感があり、学長をはじめ、理事も、襟を正して、耳を傾けています。2時間の予定を大幅に超えて、懇談会が遅くまで行われることもしばしばです。

懇談会の記録はQ&Aの形にまとめ、大学ホームページに掲載しています。



学長と学生との懇談会

■「千葉大学地域観光創造センター」と千葉県商工会議所連合会が連携協定締結

平成18年12月に発足した「地域観光創造センター」は、市民や行政・産業と連携して、地域観光の創造・地域資源の保存・地域振興の実践などに取り組んでいますが、平成19年6月27日、千葉県商工会議所連合会と連携協力を締結し、地元産業界との連携を一層強化いたしました。

これにより、本学と包括連携協定を結んでいる千葉県、千葉県内の民間企業および千葉大学の三者の連携関係が、より一層明確になりました。

■千葉大学と青森県が連携

千葉大には、全国で唯一の園芸学部があります。ここでは、植物を工場的に生産するための技術なども研究されています。

一方、青森県は、全国有数の農業県である強みを活かして、工業技術の導入による新たな生産システムの確立などを目指しています。

そこで、青森県が千葉大学の協力の下で新産業創出構想を推進できるよう、両者が連携・協力することが合意され、平成19年7月6日、古在学長が、松戸キャンパスに三村知事をお迎えし、確認書を締結しました。

■「底力宣言！千葉大学」

平成19年7月18日の昼休み、西千葉キャンパス生協ライフセンター前で学長が行った「千葉大学の決意表明」です。

「千葉大学の誇りは在学生・卒業生の皆さんです。その千葉大学が誇りとする“人”のすばらしさを、学生・教職員が一丸となってアピールし、もっと社会に顔の見える大学づくりをしていこうではありませんか！」というメッセージをお伝えしました。



学長による「底力宣言！千葉大学」

■千葉大学の特色ある大学院教育活動

千葉大学から文部科学省主催事業「大学院教育改革支援プログラム」に申請していた全6件のうち、下記5件の取組みが採択されました。

- ・実践的公共学実質化のための教育プログラム
- ・高度デザイン教育プログラム — サービス&プロダクト・デザインをコア・コンピタンスとする人材の育成
- ・大学院環境園芸学エキスパートプログラム — アジアの園芸学教育研究拠点における食と緑のエキスパート養成
- ・専門看護師養成・強化プログラム — 専門看護師リーダーの養成
- ・世界規模の治験・臨床研究を担う医療人育成
このプログラムは、産業界をはじめ社会のさまざまな分野で幅広く活躍する高度な人材を養成するため、大学院における優れた組織的・体系的な教育の取組みに対して文部科学省が財政支援を行うもので、平成19年度総予算額35億円の新規事業です。

今回千葉大学で採択されたものは、人社系・理工農系・医療系の各分野にわたっており、総合大学としての千葉大学が各分野で意欲的な大学院教育活動を行っていることを実証したもの、また、全国における大学院教育のモデルとして高い評価が下されたものといえます。

千葉大学はその期待に応え、がんばります。

各取組みの今後の展開にご期待下さい。

■千葉大学の特色ある大学教育活動

千葉大学から文部科学省等に提出した教育・研究にかかわる申請は、本年度、数多くの支援事業として採択されました。

- ・特色ある大学教育支援プログラム
- ・現代的教育ニーズ取組支援プログラム
- ・専門職大学院等教育推進プログラム
- ・社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム

- ・がんプロフェッショナル養成プラン
 - ・新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム
 - ・大学教育の国際化推進プログラム
 - ・理数学生応援プロジェクト
 - ・アジア人材資金構想「高度専門留學生育成事業」
 - ・女性研究者支援モデル育成プログラム 等
- いずれの支援事業も全国の大学等からの多数の応募のなかから選別されたもので、本学の教育実績に基づく高質化・実質化への努力が高く評価されたものです。その期待に応えるべく、教職員一同、さらなる努力をしております。

■「自然科学研究科」が新しく4研究科に

昭和63年4月に理学部・工学部・園芸学部が母体となって発足した「自然科学研究科」は、本年4月より理学研究科・工学研究科・園芸学研究科・融合科学研究科の4つの研究科に、分離・独立いたしました。分離・独立とはいえ、理・工・園の間で培ってきた連携教育・研究の理念を今後とも維持・発展させつつ、社会が求める優れた人材を育てていくことに、教員一同は努力を重ねています。

■工学部は6学科から10学科に

工学部では、「専門における目的意識の向上」「学科の適正サイズ化」「大学院博士課程へ見通しのよい一本道化」「学生の視野を広めるための基幹学科と複合・新領域学科間の教育連携」を推進する観点から、大学院工学研究科・融合科学研究科の博士課程の6専攻・10コースに対応する次の10学科を、平成20年4月に設置することになりました。

建築学科、都市環境システム学科、デザイン学科、機械工学科、メディカルシステム工学科、電気電子工学科、ナノサイエンス学科、共生応用化学科、画像科学科、情報画像学科

卒業生便り

東京高等工藝学校の頃 やなせたかし

千葉大学の同窓会名簿を見ると、たしかにぼくの名前も載っています。しかし、ぼくの入学したのは東京高等工藝学校、工藝図案科であって、現在の千葉大とは相当性格がちがっていたと思いますね。

学校はJR田町駅にほとんどくっつくように建っている木造2階建の校舎で、反対側にでると森永のキャンディストアがあり、慶応の学生が群れています。

校庭はコンクリートでかためられていて、工藝図案科は校門を入った真正面の二階に教室があり、一階には事務室と彫刻科がありました。

図案科の定員は20人で、彫刻と寫眞は5人ですから、実にこじんまりとした生徒数で、みんな何をするのもいっしょで仲が良かった。

ぼくは高知県の城東中学校という旧制中学を卒業しましたが、質実剛健の校風で、きびしかったですね。ところが、東京高等工藝学校に入学すると、昨日と今日は天と地ほどに変化して、実に自由な学校でした。

その頃学生は全員詰め襟の学生服という時代で、大学生は必ず角帽をかぶっていました。当時はそれが知的ステータスシンボルだったから、和服に着がえても裸になっても、角帽だけはかぶっているという珍妙な風俗でした。

東京高等工藝学校は制服が紺の背広で、七つの科を表現する7色の斜線が虹のように入った青いネクタイ、黒いソフト帽という、軍国主義の世相とは全く異質なモダンであり、リベラルな校風が

うれしかったですね。

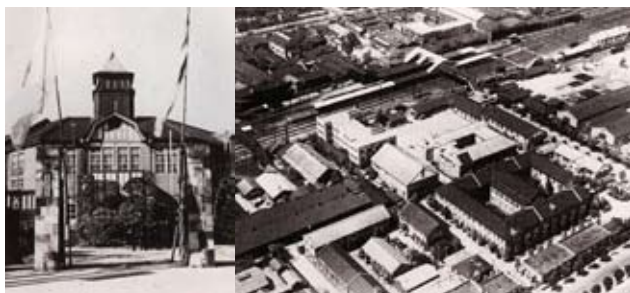
図案科の主任教授は宮下孝雄先生、担任は杉山豊桔先生でした。

入学するといきなり、「諸君はデザインを勉強するのだから机に齧りついてばかりいたのでは碌なものではない。一日一度は銀座の街を歩いた方がいい」と言われて、もう天に昇るほどうれしくて、田町は銀座と近いから、本当に雨が降っても火が降っても銀座へ通いました。先輩も後輩もみんなそうでした。

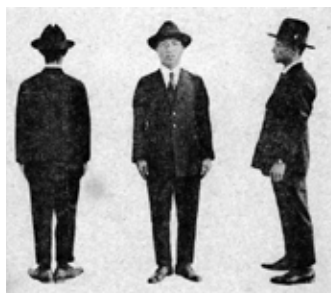
当時の銀座は都会のエッセンスのようなものが全部そろっていて、モダンボーイ、モダンガールがオシャレして歩くあこがれの街で、銀ブラといてました。特に宵闇せまる日暮れから深夜にかけてがよくてね。「花咲き花散る宵も」という歌のとおりでした。映画スターも、芸術家も、仇なお姐さんも、宝塚スターも、花売り娘もいる夢うつつの盛り場。歩くことが娯楽だった時代で、日本はひどく貧しかったけれど、銀座8丁目を歩く時はみんな忘れてしまって、田舎からでできたぼくは逢う女性すべて絶世の美人に見えました。但し、朝の光が射してくると、みんな消えてしまうんですけどね。

先輩には大橋正や伊藤憲治がいて、華やかで眼のくらむような天才で唾然としました。一年上には沢田重隆、図案科ではないが同年の木材科には後年挿絵画家としてまた新制作派の俊英として流行画家だった風間完がいました。

共通して言えるのは、温和な知性と整理された



東京高等工藝学校の正門（左）と航空写真（右）



東京高等工藝学校の制服



東京高等工藝学校校旗

美しい画面です。荒々しい画風のひとはぼくの知る限りいません。そして、ぼくの基本的な部分は、すべて、この学校で身についたといえます。

ぼくは図案科の中では商業美術・グラフィックデザインを専攻しましたが、いろいろあって漫画家となり、現在はアンパンマンの作者として絵本の仕事が主です。今でもポスターを描くのは好きですし、三千種類を超える自分のキャラクターデザインを見ていると、これは東京高等工藝学校の工芸図案科の共通した画風だなあと自分で思いますね。

今でも母校はなつかしいですよ。あんなに面白くて、楽しくて、毎日が充実していた生活がおくれたことについては、感謝しています。

ただ、楽しすぎて学業をおろそかにしたのはまちが이었다と、今頃後悔してもとりかえしはつきません。



絵本作家・詩人・作詞家 やなせたかし

<プロフィール>

1919年2月6日、高知県生まれ。東京高等工藝学校図案科（現千葉大学工学部）卒業。三越百貨店宣伝部にグラフィックデザイナーとして勤務後、フリーに。73年、月刊絵本「キンダーおはなし絵本」に「アンパンマン」掲載以降、人気シリーズとなり、88年から日本テレビ系にてアニメ化。主な絵本作品に『やさしいライオン』『アンパンマンぼうけんシリーズ』（以上フレーベル館）、『十二の真珠』『Mr. BO』（以上サンリオ）ほか。やなせたかし全詩集『てのひらを太陽に』（北溟社）。「手のひらを太陽に」ほか「アンパンマン」全曲作詞。勲四等瑞宝章受賞、日本漫画家協会文部大臣賞ほか受賞歴多数。日本漫画家協会理事長、日本青少年文化センター理事、高知県香北町（現香美市）「やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム」名誉館長ほか。今年4月、横浜市に「横浜アンパンマンこどもミュージアム」オープン。

<http://www.anpanmanshop.co.jp/>

「千葉大学校友会」便り

「千葉大学校友会」の最近の動きをご紹介します。

■千葉大学中国校友会が設立されました。

2007年8月5日（日曜日）16時から、中国北京市にある中国農業大学内国際会議センターにおいて、「千葉大学中国校友会」の設立大会が開催されました。

設立大会には、千葉大学から古在学長ほか、宮崎教育担当理事、山内国際教育センター長、上野先進科学教育センター長、新倉国際教育センター教授、魯云工学部講師、周言語教育センター准教授、藤咲学生部留学生課長が参加いたしました。

また、同大会には、長年の協定校である、中国農業大学、湖南大学関係者、上海、南京など中国各地から多くの校友の参加があり、関係者を含め約80名の参集となりました。

千葉大学での中国人留学生受入れ交流の歴史は古く、清朝末の1900年代当初に医学部の前身である千葉医学専門学校などには、多くの中国人留学生受入れ記録が残されています。その後1世紀の歴史の変遷を経ながら、現在では約500名の中国人留学生が在籍し、国別でも最大規模となっています。

「千葉大学中国校友会」の設立に関してはこれまでも本学の部局毎での組織化の試みがありましたが、近年中国に帰国した異なる部局の数多くの留学同窓生たちと交流を重ねるなかで、全

学的な校友会設立の希望が寄せられていたこと、同時に、本学からの校友会設立の呼びかけに対して快く賛同が得られたことなどから、約半年にわたる組織的な連絡・整備を図るなかで、このたびの設立の運びとなりました。

「千葉大学中国校友会」は、会員相互の親睦を図り、併せて本学との組織的な連携・連絡を図ることで、今後も中国と日本の架け橋となり、教育・研究分野などでの協力・支援活動などが期待されています。当面は、会員相互の親睦・相互情報発信事業、名簿の整備、広報・留学支援などが想定されています。

設立大会では、中国校友会の規約の承認、会長、副会長の役員6名、事務局3名、地域代表を含む理事9名の承認が行われました。会長には、王昌恩先生（国家自然科学基金委員会生命科学部：中医学・中薬学科主任教授、昭和63年本学薬学研究科博士修了）の就任が承認されました。また、古在学長から「千葉大学中国校友会」設立に当たっての祝辞、在中国日本大使館、日本学術振興会北京研究連絡センター、中国農業大学、湖南大学の各協定校、中国留日学人活動会代表などの来賓からも祝辞が披露されました。さらに、宮崎理事（校友会担当）からは、最近の千葉大学の活動について、パワーポイントでの紹介がありました。



中国校友会成立大会：
古在学長挨拶



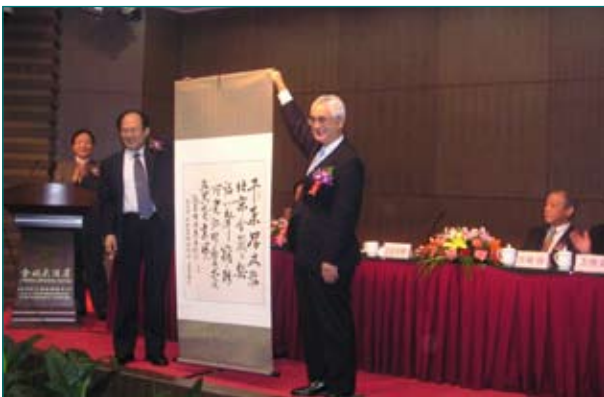
千葉大学中国校友会成立大会集合写真（於：中国農業大学内国際会議センター、2007年8月5日）

設立総会終了後、中国農業大学内金馬大酒店・豊澤園にて設立祝賀会が開催され、参加者一同は、感激とこれからの活動に対する熱い思いを交感しあいました。

最後になりましたが、中国校友会、王昌恩会長から設立大会にてご披露された千葉大学と中国校友会の深い友情を現す漢詩をここに御紹介させていただきます。

千葉学友聚北京 金蘭之契話心声
難能可貴弥珍貴 求同存異亮高風

訳：千葉の学友が北京に集い、金蘭の契り心から話合う。まれに見る貴重なひとときに、異なりはあれども調和を求め、より高きものをめざす。



中国校友会成立大会：
王昌恩先生（会長）からの友情漢詩披露

なお、千葉大学校友会では、本学を巣立って母国で活躍されている数多くの方々との交流を深めていくべく、今後も、各国における校友会の立ち上げに努力していきたいと考えております。

●校友会シンボルマークについて●

デザインは校友会の設立主旨にある「各同窓会が団結し協力することから、それぞれの同窓会ひいては千葉大学の発展に寄与する」ことを表しています。

デザイン / 千葉大学グランドフェロー 宮崎 紀郎



■インターネット上での校友会活動へのお誘い

本年秋、千葉大学校友会は、千葉大学の卒業生・教職員・在校生を対象としたソーシャル・ネットワーク・サービス「Curio (キュリオ)」を正式にオープンいたします。

Curio が目指しているのは、地理的な制約がないインターネットの上で、千葉大コミュニティの拡大と活性化を図っていくことです。

Curio では、参加者の一人一人が近況を数多くの知人に伝えることができます。また、出身学部・学科や職業・趣味を同じくするメンバーとインターネット上のサークルで情報交換を行うことができます。さらに、社会で活躍している先輩からのアドバイスを求めている在校生の皆さんとの交流もできます。

そして、Curio での活動はすべて在学当時の姓名で行われますから、参加者の中から当時の仲間を見つけ出すことも容易です。「千葉大学」を共通項とする皆さんのコミュニケーションと活動の場を広げるための新しいツール、それが Curio です。ただ、生まれたばかりの Curio が役割を果たしていくには、できる限り多くの皆さんに参加していただく必要があります。

登録料や会費はかかりません。多数の皆様のご参加をお待ちしています。



Curio の詳細・登録方法については、下記のサイトをご参照ください。

<http://www.chiba-u.ac.jp/sns.htm>

千葉大学校友会報 創刊号

2007年9月15日発行

千葉大学校友会

住所：〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33

TEL：043-290-2109、3902、3903（内線4040）

FAX：043-284-2550

E-mail:koyukai@office.chiba-u.jp